





石造線刻阿弥陀如来坐像



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	せきぞうせんこくあみだによらいざぞう
所在地	倉敷市真備町尾崎東谷
指定年月日	昭和34年9月15日
解説	石灰岩の自然石の正面に仏坐像を線刻している。像高58cm。判読は困難であるが、寛元4年(1246)の銘があることから、鎌倉時代中期の造立であることがわかる。像については阿弥陀如来とするのが通説であるが、不鮮明なところから異説もある。全体に風化が激しくなっているが、県下の在銘石仏の中で最も古い年紀銘をもつものとして価値がある。
アクセス方法	
公開状況	
設備	駐車場  トイレ  障害者用駐車場  障害者用トイレ 
備考	